

「医学・生命科学のためのAI」

AI for Scienceの最前線と医学と医療への応用

-AIは2050年までにノーベル生理学・医学賞を受賞できるのか？-

2026年10月2日（金）

時間 16:00-17:30（開場 15:30）

会場

大阪大学

最先端医療イノベーションセンター棟 (CoMIT)
1階 マルチメディアホール
（大阪府吹田市山田丘2-2）

講師

大阪大学 ヒューマン・メタバース疾患研究拠点 特任教授/
慶應義塾大学 大学院医学研究科 拡張知能医学講座教授

桜田 一洋



参加費

無料（事前申込制）

「科学の再興」という目標が掲げられ、AI関連技術を科学研究に本格的に組み入れる政策が日本では加速しています。それに伴い、文部科学省では「AI for Science」による科学研究の革新を重点施策として位置付けています。

2050年までに、ノーベル医学生理学賞を受賞できるような発見をAIにさせるというノーベル・チューリング・チャレンジは、「AI for Science」の究極の到達目標となっています。

本講義では、すでに医療現場で活用されている臨床意思決定支援AIやAI搭載医療機器の現状を紹介するとともに、現在政策的にも推進されているAI for Scienceや医学基盤モデル（汎用疾患モデル）など、医療AIの最新動向を概観します。あわせて、これからの医療や研究のために、なぜ数理・データサイエンス・AIの素養が重要なのかを考えます。

本講義は本学大学院生向けの科目ですが、初回講義「AI for Scienceの最前線と医学と医療への応用」は、一般の方にもご参加いただける公開講座として開催いたします。

詳細・お申込

【申込締切】

2026年9月28日（月）23:59



お問合せ先

大阪大学ヒューマン・メタバース疾患研究拠点

✉ planning@prime.osaka-u.ac.jp

